



観音寺市議会だより

ミライエ

3月定例会のあらまし 2
一般質問 5
審議結果11



人口 55,170 人
(2026.4.1現在 内外国人1,597人)

市議会のこと、もっともっと見てみんな〜♪

観音寺市議会 🔍 検索

中学生向けの
イベントを開催するよ！
詳しくは
10ページへGO!!



お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



定例会が3月3日から26日までの24日間の会期で開かれた。初日には、提出された議案のうち人事案件2件と、同日追加の人事案件1件を同意した。

一般質問では、10日に8人、11日に6人が市政についてたずねた。各常任委員会では、付託された34議案について審査した。

最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり承認・可決した。また、追加議案が2件提出され、原案のとおり同意した。

3月定例会の主な議案

Pick up!

— 議案第37号 —

教育委員会教育長の任命について

十河 聖司 氏

- 任期満了に伴い、現教育長の再任に同意した。

— 議案第38号 —

副市長の選任について

薦田 等 氏

- 令和8年3月31日をもって挽田 公孝 副市長の任期が満了することに伴い、後任の選任について同意した。

— 議案第12号 —

観音寺市放課後児童クラブ条例の一部改正について

- 令和8年度から市立放課後児童クラブの運営を業務委託するにあたり、閉所時刻を午後6時から午後6時30分に変更するもの。

— 議案第13号 —

観音寺市敬老祝金条例の一部改正について

- 一定の年齢を迎えた高齢者に対する祝金の支給について、複数の事業を整理し、事務の効率化を図るとともに、新たに満110歳を受給者とするすることで、長寿者への敬意を表し、高齢者福祉の向上を図るもの。

改正後	改正前
満80歳又は満88歳の者にあつては5千円、満100歳の者にあつては3万円、満110歳の者にあつては10万円とする。	満80歳の者にあつては5千円とし、満88歳の者及び満100歳以上の者にあつては1万円とする。

－議案第28号－

令和8年度観音寺市一般会計予算 ★新規・拡充事業を中心に取り上げています。

道の駅建設事業 13億6,908万円（令和7年度繰越事業費 4,595万円）

- 新たな“にぎわいの拠点”となる新「道の駅」を整備することにより、交流・関係人口の創出と市内経済の活性化を図るもの。令和8年度は、用地取得や基本設計、実施設計等を行う。

委 託 料 基本設計、造成実施設計、新「道の駅」 実施設計、道路詳細設計（跨道橋）、 登記業務、地質調査（市道）、開業準備、 アドバイザー	公有財産購入費	物件移転補償費
2億2,579万円	5億8,229万円	5億6,100万円

駅前利便性向上再整備事業 687万円

- JR観音寺駅周辺の利便性の向上を図り、駅を中心としたにぎわいを創出するもの。令和8年度から、JR観音寺駅北側駅前広場（人と車両の動線が混在するエリア）の再整備に着手する。

駅を中心としたまちづくり事業 236万円 ★新規

- JR観音寺駅を中心とした、駅周辺及び北側・南側の各エリアの活性化を目的とする「まちづくりプロジェクト」を推進し、「駅の橋上化を含む改築」と「駅周辺の魅力を活かした中心市街地の活性化」の両輪で施策の検討・実施を行うもの。令和8年度は、ニーズ調査や基本計画策定に向けた検討を行う。

スマートインターチェンジ整備事業 3,415万円
（令和7年度繰越事業費 11億1,589万円）

- 市へのアクセス向上を図るため、高松自動車道と市内幹線道路を接続するスマートインターチェンジを整備するもの。令和8年度は、市道整備工事、周辺対策工事等を行う。令和8年夏に供用開始予定。

第2子以降保育料無償化 420万円 ★拡充

- 所得や第1子の年齢に関係なく第2子（現に扶養している子ども）以降の保育料の完全無償化を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。（認可保育所および認定こども園の保育料免除、認可外保育所の保育料補助）

子育てサポート事業 330万円 ★一部拡充

- 一時的に家庭での保育が困難な場合でも安心して子どもを預けられるよう、一時預かり事業を行う。また、子育て支援ルーム「ここすまいる」にて、子育て支援員が相談や交流の場および情報の提供を行うもの。令和8年度からは、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を開始する。

大野原こども園改築事業 562万円 ★新規

- 大野原こども園舎敷地内に新園舎を建設するとともに、園庭駐車場等の整備をするもの。令和8年度は、こども園敷地の用地測量業務委託を行う。

シルバーわくわくタクシーチケット事業 3,607万円 ★新規

- 在宅で生活する75歳以上の運転免許を持たない高齢者を対象に、タクシー料金の一部を助成することで自力移動が困難な高齢者の経済的負担を軽減するもの。

助成額 1人当たり1万円（500円×20枚）

中学校施設設備整備事業 3億9,165万円 ★新規

- 施設整備や老朽化した設備の改修を行い、教育環境の改善を図るもの。
令和8年度は、中部中学校および大野原中学校の体育館・武道場に空調設備を整備する。他の3校においても順次実施設計を進める。

中学校情報機器整備事業 7,544万円 ★新規

- 中学生が1人1台使用しているタブレットについて、県の補助金を活用して更新するもの。

地域クラブ運営業務 987万円 ★新規

- 休日の部活動を地域に展開するための制度整備や指導人材の確保を進めるもの。
令和8年度2学期から地域クラブの運営について外部委託を行う。

第2運動公園整備事業 2億6,812万円（令和7年度繰越事業費 9,952万円）

- 凧瀬町に多目的グラウンド等を整備し、市民がスポーツに親しみながら仲間との交流や健康の維持増進を図ることができる環境づくりを行うもの。（令和8年度一部供用開始）
令和8年度は、多目的グラウンド照明工事、芝生広場、第2駐車場等を整備する。

地震・津波対策海岸堤防等整備事業 5,720万円 ★新規

- 香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画（Ⅱ期）において、対策が必要な防護施設に位置付けられている豊浜港の管理護岸について対策を実施するもの。

JR豊浜駅整備事業 1,101万円 ★新規

- JR四国と協働で駅舎、ロータリーおよび駐輪場等の整備を行い、利便性や快適性を強化して地域活力の向上を図るもの。
令和8年度は、実施設計に要する負担金を計上する。

生活習慣・健康状態見える化事業 117万円 ★新規

- 見える化測定器で生活習慣や健康状態を振り返り、保健指導を通じて改善等を促すことで、がんや循環器病などを減少させ、健康寿命の延伸を図るもの。保健指導では食事内容や摂取量等をフードモデルで見える化し、食生活の改善をサポートする。

5歳児健康診査事業 580万円 ★新規

- 5歳児に対して健康診査を行い、子どもの特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣やその他の指導を行い、幼児の健康保持および増進を図るもの。
令和8年度は、翌年度からの実施に向け、準備を進める。



立石 隆男
自民新風会

農業施策については？

答 弁
地域計画の推進や共同活動の促進、有害鳥獣対策事業の充実を図る

〔質問〕 農地の維持管理についての今後の計画は？

〔答 弁〕 農林水産省の作物統計調査によると、令和6年度の市内耕地面積は2720haで、この10年間で160ha（約5.6%）減少している。また、遊休農地も増加傾向にあり、10年前と比べて36.3%程度増の約18.5haである。高齢化や後継者不足などの課題を抱える農地を将来にわたって守るために、概ね10年後の農地利用の姿を明確にした地域計画を市内38地区で策定しており、担い手への農地集積を促進すべく、土地改良事業によるほ場整備などを推進していく。併せて、多面的機能支払制度※1や中山間地域等直接支払制度※2による共同活動を促進し、良好な農地を次世代に引き継ぐ。

〔質問〕 鳥獣害対策について伺う。

〔答 弁〕 稲や果樹への鳥獣被害額は毎年50〜160万円以上と推測される。

現在、市内の狩猟登録者63名を鳥獣被害対策実施隊員として、鳥獣の捕獲・駆除や生息状況被害発生時期の調査などの活動を行っている。隊員の高齢化もあり、新たな担い手の確保が喫緊の課題である。

隊員の確保とモチベーション向上を図るため、令和8年度から捕獲奨励金の引き上げなど事業の充実を図り、鳥獣被害の軽減に向けて積極的に取り組んでいく。



白川 雅仁
公明党

令和8年度主要施策より、①農業振興、②福祉避難所強化をただす

答 弁
①地域計画の見直しや多角的な施策で集積・集約化を促進する、②支援事業を実施する

〔質問〕 将来の地域農業の在り方や10年後の耕作者を記した地域計画が策定されたが、その概要と農地集約を加速化させる市の取り組みを伺う。

〔答 弁〕 地域計画は概ね10年後の農地利用を明確にした設計図である。営農方針を示す「地域農業の在り方」と農地を誰が集積・集約して耕作するかを示す「目標地図」からなる。随時見直しを行い、質を高める取り組みを推進していく。農地の集積・集約については、規模拡大を旨とする認定農業者等を将来の耕作者と位置付け、大型農業機械等の導入支援、ほ場整備など多角的な施策で促進を図る。

〔質問〕 内閣府の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」では、市町村は発災当初の段階での物資・資機材の調達は困難であることから、一定程度の備蓄に努めることとしている。市の災害備蓄品を福祉避難所に分散備蓄してはどうか。

〔答 弁〕 福祉避難所を円滑に運営するための体制整備を目的に、令和8年度から資機材の整備や施設改修に市と県が経費の一部を補助する「福祉避難所体制整備支援事業」を実施する。



掲載できなかった代表質問

氏 名	質 問 件 名
立石 隆男 (自民新風会)	● 施政方針について
白川 雅仁 (公明党)	● 財政について ● 地方創生について ● 健康福祉について ● 防災・減災について

スマートフォンやタブレットで 議会映像をぜひご視聴ください

市議会では、一般質問を含む本会議の様子をインターネットで生中継・録画放映しており、パソコンやスマートフォン、タブレットなどで気軽にご視聴いただけます。

各質問者の録画映像を視聴しやすくするために、質問者ごとにQRコードを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



※1 農地は食料生産以外にも水源のかん養や自然環境の保全など多面的な機能を有しており、過疎化や高齢化により農用地・水路・農道などの保全管理が難しくなっている状況を踏まえて、地域の人々で話し合ってきた計画に基づき実施する活動をこの制度で支援している。

※2 中山間地域は、耕地条件の悪さや高齢化の進行、生活環境整備の遅れなどにより耕作放棄が特に深刻化しており、この地域で適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業者などへの交付金により生産条件の不利性を補正して、農地の多面的機能確保を図っている。



茂 問 答
自民新風会

観音寺市の将来について

答 弁
宿泊インフラ整備を契機に、市内経済への波及効果を高め、持続的な好循環を生み出したい

〔質問〕 令和7年、市内に新しいホテルが2軒建設され、営業を始めている。

市民の皆さまの意見として、全国チェーンの有名なホテルが本市に建設されたことは、将来何か大きく発展する希望があるからではという期待を持っているが、市としての見解を伺う。

〔答弁〕 全国展開ホテルの進出は、単なる個別事業者の投資判断にとどまらず、本市の立地優位性や交通アクセス、観光資源、ビジネス需要、本市独自の立地促進助成策などが総合的に評価された結果であり、外部からの重要な評価指標であると認識している。

この新たなホテルの進出は、雇用創出や税収増、観光消費の拡大といった効果が期待されるものである。

今後はこれを契機に、従来の通過型観光から滞在型観光への移行を目指し、地域資源や食文化を織り込んだ周遊ルートの造成、体験型プランの開発、イベント情報の発信強化などに努め、地域経済の活性化を図る必要があると考えている。こうした一連の取り組みを通じて、観光・交流人口を増やし、市内経済への波及効果を高めることで、地域経済の持続的な好循環を見出ししていきたいと考えている。



岸上 政 憲
自民新風会

本市での保護犬・保護猫の譲渡会開催を提案する

答 弁
譲渡会開催に向けて検討を進める

〔質問〕 保護犬・保護猫譲渡会を開催できる市有施設について検討を行った結果、条件はあるものの開催できることを確認した。譲渡事業を行っている県と協力して譲渡会を開催することを提案するが、市の考えを伺う。

〔答弁〕 三豊観音寺地域ではこれまで開催場所がなく、実施できていない。使用条件によっては犬猫の受け入れ可能な市有施設があったため、譲渡事業を行っている県と連携して譲渡会開催に向け検討を進める。

アニメの聖地追加のため、キャラクターマンホールふたの設置を提案する

答 弁
ファンの聖地巡礼意欲を高める有効な施策であり、課題を踏まえ、実現に向け検討する

〔質問〕 令和7年末、京都府宇治市は同市を舞台とするアニメキャラクターのマンホールふたを設置し、大きな盛り上がりを得た。アニメ聖地を追加するために、本市でも設置を提案する。

〔答弁〕 アニメキャラクターのマンホールふたの設置は、ファンの聖地巡礼意欲をさらに高める市内周遊を促進する有効な施策と考える。著作権者の使用許諾等の課題を踏まえ、先進事例を参考に実現に向けて検討する。



石山 秀 和
公明党

新「道の駅」かんおんじ(仮称)の用地費・補償費についてただす

答 弁
合計で11億4328万9000円(基本計画より1億7800万円減額)

〔質問〕 概算事業費について、17年間のインシヤルコストと34年間のライフサイクルコストを伺う。

〔答弁〕 令和22年まで最大1億6700万で、一般財源に占める割合は0.99%。翌年度以降は、指定管理料の2800万円(0.14%)のランニングコストが必要。

〔質問〕 新「道の駅」の売上予測を伺う。

〔答弁〕 基本計画時は8億2400万円であったが、指定管理候補者からは12億円〜13億7800万円との予測が示された。

〔質問〕 指定管理者からの納付金の率を伺う。

〔答弁〕 売上の上振れ予測により、3%(約3900万円)を提案されている。

〔質問〕 基本計画での納付率は5%で4100万円、3%となると約200万円の減額となるが、再協議が必要ではないか。

〔答弁〕 今後継続して協議していく。

大野原こども園内の二時預かりひなたぼっこで実施予定

〔質問〕 制度の準備状況を伺う。

〔答弁〕 制度は令和8年4月に全国で本格開始され、本市では大野原こども園内の「二時預かりひなたぼっこ」にて、定員8人、職員を1人増やしての運営予定。国の総合支援システムを活用して利便性を図る。





土田 祐司
自民新風会

新「道の駅」整備を契機とした地域経済の流れについて

答 弁

魅力ある雇用の創出を積極的に進める

〔質問〕 重点的に誘致したい業種・分野は。

〔答弁〕 先進的な製造業や高付加価値を生み出す企業の誘致、若者が市内にとどまるような魅力ある雇用の創出を積極的に進める。特に県が推進する大規模データセンターの誘致は、産業デジタル化や「AIファクトリー^{※3}」の構築を進め、地域経済活性化に役立つ重要な施策と認識している。持続可能な地域経済の再生と未来づくりに力強く取り組む。

二地域居住の推進と交流人口、関係人口の創出について

答 弁

交流人口、関係人口の創出が重要

〔質問〕 二地域居住に対する基本的な認識は。

〔答弁〕 定住人口の確保に加え、交流人口や関係人口の創出も重要であり、多様な形で本市と関わる人の流れを創出して継続的な交流・関係人口の拡大を図ることが必要である。

こうした認識のもと、総務省の地域力創造アドバイザー制度^{※4}を活用し、専門的な知見からの助言を得ながら本市の強みや二地域居住に関するニーズを的確に把握し、企画立案や戦略的な情報発信を推進していく。

また、「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム」に加入して最新の情報収集に努め、得られた知見を活かしながら、より効果的かつ戦略的に取り組みを進めていく。



金丸 康剛
自民新風会

供用が開始されるスマートICの効果最大化するLED看板の設置について

答 弁

先進事例も参考に設置に向けた調査と検討を進める

〔質問〕 令和8年夏の観音寺スマートインターチェンジ供用開始により交通便利性が向上するが、その玄関口における戦略的な情報発信が弱い状況にあり、滞在、消費、定住に結び付ける仕組みが不足していると感じる。周辺に大型LED看板を設置して、観光誘導、企業PR、防災情報発信に取り組むことを提案する。

〔答弁〕 スマートインターチェンジは中心市街地へのアクセス向上のみならず、観光振興や災害時の機能強化という点でも重要な社会基盤である。大型LED看板などの設置は、市外からの来訪者の利便性向上や地域防災の強化に効果的であり、調査・検討を進めていきたい。

文化振興について

答 弁

参加団体間の意見交換会を行い現状把握に努める

〔質問〕 現在、本市の愛好家や団体からは「作品を展示したくても場所が空いていない」「既存の公民館では照明設備が不十分で、作品の魅力が伝わらない」「巡回展を招致できるスペースがない」という切実な声が寄せられている。

〔答弁〕 ハイスタッフホールの多目的ホールや中央図書館は、公共交通の利便性が高く来訪者の周遊を促す立地にあり、イベント開催に適しているため、施設の利用促進に向けて情報発信を一層強化していく。



合田 信一
自民新風会

本市の農福連携の現状について

答 弁

農福連携の普及・拡大に向けて、他市の先進事例も参考にしながら前向きに取り組む

〔質問〕 現在の日本の農業において、高齢化や人材不足は深刻な問題であり、本市も例外ではない。高齢化・人材不足・労働力不足の中、少しでも農家の負担を減らすために、まずは農福連携に力を入れてほしい。本市における農福連携の現状と、今後の市の取り組みについて伺う。

〔答弁〕 農福連携とは、農業と福祉が連携し、障がい者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに障がい者等の自信や生きがい創出し、社会参画を実現していく取り組みである。

現在本市では、複数の障がい者サービス事業所が社会参加や働く場の提供、また能力向上のために必要な訓練等の一環として、タマネギやニンジン、ニンニク等の定植や収穫作業を請け負っている。しかし、市内の農業者の多くがこの取り組みを知らなかったり、依頼先が分からなかったりと、多くの課題を抱えている。今後は、農業者に対して農福連携の取り組みに関する情報を発信するとともに、普及・拡大に向けて、他市の先進事例の調査研究を進めながら、前向きに取り組んでいきたいと考えられている。



※3 AIの大量生産拠点となるデータセンターを常時稼働して最適化されたAIモデルを需要に応じてさまざまな産業に供給する。

※4 独自の魅力や価値を向上して地域力を高めようとする市町村が、専門知見やノウハウを有する外部の人材を招いて指導や助言を受ける際に、総務省が情報を提供したり必要な経費を支援する制度。



篠原重寿
無所属(立憲)

市職員の職場環境整備について(窓口対応による時間外勤務の縮減、カスハラ対応)

答 弁

開庁時間短縮の検討や、カスハラ対策基本方針に基づく毅然とした対応を行っていく

〔質問〕市民課などをはじめとする窓口業務は、午前8時30分から受け付けるために、勤務時間前の出勤が必要となっている。この恒常的な時間外勤務の縮減のため、全国的に導入されている窓口時間短縮について、市の考えを伺う。

〔答弁〕県内他市でも開庁時間の見直しに向けた協議が始まっている。現在の窓口来庁者数などを分析し、先行自治体事例の研究とともに、市民の意見を聞きながら、検討する。

〔質問〕全国企業の約28%でカスハラ(カスターハラメント)について相談があり、増加傾向との調査がある。厚生労働省は法律を改正し、カスハラ防止の取り組みを自治体にも義務付けた。市の対応策と内容を伺う。

〔答弁〕市職員アンケートでは、40%が過去3年以内にカスハラを受けたと回答した。そこで令和8年3月に「観音寺市職員カスターハラメント対策基本方針」を策定し、事案発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう、周知と研修に努めることとした。個別事案に対しては、警察や弁護士などの専門機関と連携し組織的に対応する。



藤田 均
無所属(共産)

加齢性難聴者への補聴器購入補助に市の上乗せを

答 弁

難聴と認知症との関連性や国の動向を注視する

〔質問〕県は、全国で初めて加齢性難聴者の補聴器購入費一部助成(補助率50%、上限3万円)に乗り出す。市も県の施策と連動して補助を充実させてほしい。

〔答弁〕県に加齢性難聴対策推進事業は、難聴と認知症の関係や補聴器の適正使用についての普及啓発が目的。当事業の結果を確認の上、慎重に検討する。



新道の駅敷地内外の排水計画と事業費は？

答 弁

調整池の容量や集水計画と事業費を基本設計に集約中

〔質問〕地元水利組合や住民と協議して事業費を算出するとは。また、予算化の時期は。

〔答弁〕用水路は「造成前の流量を超えない」という基本方針で、現地調査や分析結果を踏まえた概算事業費などを集約中。令和8年から下流域用水路改善の測量設計、翌年度以降に工事の予算要求予定。

有害なPFAS、本気の汚染対策を求める

答 弁

地下水の水質調査などを県に要望する

〔質問〕令和6年夏にPFASが市内の井戸から確認され、未だ原因不明である。曖昧にしたまま市民の安全・安心はない。

〔答弁〕県と情報共有し、汚染範囲を把握するための地下水水質調査を県に要望する。



立石珠実
無所属(国民)

農業振興について

答 弁

今後も多様な農業人材の確保に向けて一層の支援を行う

〔質問〕県は、全国に先駆けて多様な農業人材認定制度を創設したが、本事業の認定数と支援の実績について伺う。

〔答弁〕本市では、これまで令和6年度に9名、令和7年度に5名、計14名が多様な農業人材に認定されている。支援の実績については、2名が本事業を活用し、キウイの果樹棚、ニンニク栽培用機材の整備を行っている。

〔質問〕県と市の支援はそれぞれ100万円が上限だが、認定者数と比較すると支援を受けられていない方も多い。十分な予算の確保と県との連携をお願いしたい。

〔答弁〕県と調整し、令和8年度予算に間に合うものは反映した。個別の事業内容や緊急度を考慮し、県予算との調整が取れる場合は、次年度を待たず補正予算での対応も検討する。

萩の丘公園キャンプ場のペット同伴について

答 弁

関係各課と連携し、より良い方策を検討する

〔質問〕萩の丘公園キャンプ場について、公園の利用ルールを見直してペット同伴での利用を可能にしては？

〔答弁〕多様な方が利用しており、トラブル防止のため禁止しているが、ルールの見直しや別区画の設置、衛生管理・安全対策の検討など、利用者の安全と快適さを最優先に考えて前向きに検討する。





岡崎 洋祐
無所属

第10期介護保険事業計画における介護保険料について

答 弁 今後見込まれる介護保険サービスの事業量や給付費を考慮しながら慎重に検討する

【質問】 介護保険介護給付費準備基金を取り崩して介護保険料を少しでも引き下げる意向はあるのか。

【答弁】 介護保険介護給付費準備基金の現在の残高は、約12億3000万円となっている。物価高が長引く中、所得の低い高齢者の生活は厳しさを増しており、少しでもそういった市民の経済的負担の軽減に努めていきたいと考えている。

保険料基準額の決定については、今後見込まれる介護保険サービスの事業量や給付費などの変化を考慮しながら、慎重に検討を進める。

中学校の学校給食費無償化について

答 弁 国が制度化した場合、速やかに対応できるように引き続き検討する

【質問】 中学校の学校給食費無償化については、県内の多くの自治体が令和8年4月より取り組む予定であるが、本市としての考えを伺う。

【答弁】 中学校の学校給食費無償化を国が制度化した場合、速やかに対応できるようにするとともに、校区によって市民の負担に差異が生じないように、引き続き検討する。



豊浦 孝幸
自民新風会

JR観音寺駅の周辺整備および琴弾公園の活用について

答 弁 各所において適時事業を構築している

【質問】 令和8年夏に観音寺スマートインターチェンジが供用開始される。そこで、①駅や公園への導線整備計画、②JR観音寺駅周辺の整備計画、③交流・定住人口の満足度を上げる琴弾公園の活用策について伺う。

【答弁】 ①駅通り池之尻線（市道）においては、交通円滑化および安全性向上を目的として、一部区間の拡幅整備と照明設備の充実を図っている。

②JR観音寺駅周辺整備は、駅舎改築による二重投資を避け、駅舎改築前に送迎時の一時停車スペース設置や、歩行者の安全確保を最優先とした車両導線の最適化など、駅前広場の再整備設計に着手して利便性を向上させる。

③琴弾公園は、県と連携した銭形砂絵のライトアップ設備の更新や山頂の展望台改築などを通じて、より魅力的な観光スポットへの転換を図っているところである。

市民の皆さまやまちづくりに関わる各種団体の方々から、利活用に関する多くの提案があり、いずれも郷土愛の醸成や地域活性化に資する重要なものと受け止めている。行政と民間の連携が不可欠であるため、公園管理者の県と連携を図りつつ、柔軟な発想を積極的に取り入れ、公園や周辺地域の魅力向上と観光拠点化に取り組む。



合田 隆胤
自民新風会

新「道の駅」について

答 弁 公益施設分の維持管理費は市が負担、20万円超の修繕費は都度協議

【質問】 土地代等について伺う。農地として評価した場合の坪単価は？

【答弁】 用地取得費が約5億8230万円、物件移転等補償費が5億6100万円。農地としての不動産鑑定評価は業務上不要。

【質問】 市長の説明はメリットが中心。建設費約80億円に加えて維持管理費という大きな負担も市民に背負わせてまで、本当に必要な投資なのか？

34年間黒字想定だが、同期間に人口は4割以上減る予測。先んじて行うべき下水道整備や道路修繕、公共施設維持費などにはいくら必要か？

【答弁】（金額などの明確な答弁なし）

市長の防災意識について

答 弁 市民の生命と財産を守る主体のトップとして、日々尽力する

【質問】 令和8年1月の地震（震源地は島根県東部、本県は震度4）の際、発生から約40分後に市長は私用で庁舎を離れていたが、問題ないと判断した根拠は？

【答弁】 正確なことは覚えていないが、総合的に勘案して問題ないと思ふ。判断し庁舎を離れたと思う。



新「道の駅」計画を比較

くるくるなる（鹿門市）	観音寺市 新道の駅
市道 鹿みちひろ	市道 佐伯あきひろ
事業費 約20.3億円	約80億円
年間乗客 約130万人（実績）	85万人（推定）
年間売上 約20.3億円（実績）	約8億2,400万円（推定）
投資効率 売上とはほぼ同等	売上は約10倍投資
1人あたりの投資額 約39,000円	約145,000円
人口規模 約5.2万人	約5.5万人
土地条件 商業に専ら 観光地	観光地の駅2箇所あり

掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食について ●有明浜の堤防について ●出前講座について ●健康長寿対策について
岸上 政憲	<ul style="list-style-type: none"> ●移住定住に繋がる空き家の利活用について ●道路修繕費等の予算増について ●学校施設建替え計画について
土田 祐司	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の行政機能の見直しについて
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について ●学校給食費の無償化について

氏名	質問件名
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●生活保護費減額分の一部補償について ●こども誰でも通園制度について ●下水道管の耐震化と、使用料の値上げ予測について ●本市港湾の耐震化強化岸壁と、港湾区の避難所について
立石 珠実	<ul style="list-style-type: none"> ●一の宮公園自由広場（スケートパーク）について
豊浦 孝幸	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について ●財政について
合田 隆胤	<ul style="list-style-type: none"> ●J R 豊浜駅周辺の整備について ●障がい者福祉支援に対する佐伯市長の考え方について

議会へようこそ!

中学生意見交換会

予告

参加者募集時期など 詳細は、随時ホームページやSNSでお知らせいたします

対象 観音寺市内の中学生
★参加者募集時期にあわせて各校にチラシをお配りします

とき 令和8年8月8日(土) 13時30分から

ところ 観音寺市役所本庁舎5階（議場、全員協議会室など）

何をするの？

- 5名程度のチームに分かれ、ワールドカフェという方法でテーマに沿った意見交換を行います

★議員が各チームの進行をお手伝いします！

最後に議場で発表会をします！

さらに! 社会人対象の意見交換会を令和8年秋の開催に向けて企画しています。こちららも詳細は議会だよりやホームページ、各種SNSで随時お知らせします。

審 議 結 果

議案の審議結果

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

令和8年第1回（3月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第1号	専決処分の承認について（令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第6号））	承 認
議案第2号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	観音寺市行政手続条例の一部改正について	//
議案第4号	観音寺市情報の安全処理に関する条例の一部改正について	//
議案第5号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第6号	観音寺市第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	観音寺市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第10号	観音寺市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	//
議案第11号	観音寺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第12号	観音寺市放課後児童クラブ条例の一部改正について	//
議案第13号	観音寺市敬老祝金条例の一部改正について	//
議案第14号	観音寺市火入れに関する条例の一部改正について	//
議案第15号	観音寺市立図書館条例の一部改正について	//
議案第16号	観音寺市大野原勤労青少年ホーム条例の廃止について	//
議案第20号	観音寺市立豊浜野球場条例の一部改正について	//
議案第21号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第22号	農業委員の任命について	//
議案第23号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第24号	令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第7号）	//
議案第25号	令和7年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議案第26号	令和7年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第27号	令和7年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	//
議案第29号	令和8年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第30号	令和8年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	//
議案第31号	令和8年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議案第32号	令和8年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	//
議案第33号	令和8年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計予算	//
議案第34号	令和8年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	//
議案第35号	令和8年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	//
議案第36号	令和8年度観音寺市下水道事業会計予算	//
議案第37号	教育委員会教育長の任命について	同 意
議案第38号	副市長の選任について	//
議案第39号	教育委員会委員の任命について	//
議提議案第1号	特別委員会の設置について	原案可決

● 賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議 案 名 等	議 員 名																議決結果			
	三好	藤田	立石	篠原	岡崎	白川	石山	豊浦	土田	立石	詫間	篠原	合田	合田	岸上	金丸		大矢	大平	
	優子	均	珠実	重寿	洋祐	雅和	秀幸	孝幸	祐司	隆男	茂	和代	隆胤	信一	政憲	康剛	一夫	直昭		
	無	無共	無国	無立	無	公明党	自民新風会													
議案第8号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案可決
議案第9号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	//
議案第17号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	//
議案第18号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	//
議案第19号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	//
議案第28号	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	//

※会派別五十音順 ※会派に所属していない議員…立憲民主党、日本共産党、国民民主党、無所属

表紙写真の紹介



「春ハレの日」

観音寺第一高等学校写真部 3年 山本 駿さん やまもと しゆん

この作品は毎年4月中旬に行われる高屋まつりで撮った写真です。市内で唯一、桜の開花時期に行われる祭りのため、ちょうさと花の美しいコラボレーションを見ることができます。また、太鼓台がかき夫の方たち一丸となって稲積山を登る光景は圧巻です。春の明るい雰囲気伝わると嬉しいです。

今号はタイトルの「ミライエ」も高校生に書いていただきました！



ミライエ

揮毫者 まごう

観音寺第一高等学校書道部 2年 齋藤 明里さん さいとう あけさと

今回は題字揮毫という大役をらせていただき、ありがとうございました。

素敵な作品をありがとうございます

3月の定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について、会派代表を含め14名の議員が登壇し、47項目にわたり質問しました。広聴広報委員会では、新たに「中学生との意見交換会」を8月8日に企画しております。詳細は随時ホームページやSNSにてお知らせいたしますが、未来を支える観音寺の子どもたちと意見交換ができることを楽しみにしております。

また、秋には大人の皆さまを対象とした意見交換会も企画していますので、ご期待ください。

これからも議会を身近に感じていただけるよう、また「開かれた議会」となりますよう挑戦していきたいと考えております。今後とも市民の皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広聴広報委員長 岸上 政憲

編集後記

6月定例会の予定

16日	10日	9日	8日	6月4・5日	5月26日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

広聴広報委員会

委員長 岸上 政憲
副委員長 土田 祐司

白川 雅仁
金丸 康剛
岡崎 洋祐
立石 珠実
合田 信一

